

2007年 国語総合・情報C プレゼンテーション合同授業 概要

合同授業の目的

当合同授業においては、生徒が下記の3つの能力・技術

1. 情報収集能力
2. 発表資料作成能力
3. プレゼンテーション技術

の向上をはかるとともに、与えられたテーマで効果的に情報を伝えるにはどうしたらよいかについて、自らの経験を通して学び取ることを目的とする。

授業実施時数

11月5日～11月30日の間で、**8時間**
(1時限目：国語科、2～8時限目：国語科/情報科の授業内で実施)

授業時間割り

	西岡 萩野		若宮 萩野		若宮 篠原		西岡 萩野		楠田 篠原		楠田 篠原		西岡 篠原		若宮 萩野	
	1-1		1-2		1-3		1-4		1-5		1-6		1-7		1-8	
11/5月	1		1	1	1		1	①	1	1		1	1	1		1
11/6火	1	①	1	1	①		1		1	①	1	②	1	1	①	1
11/7水	1				1	①	1		1		1	1	1	1	②	1
11/8木		1	1	1	②	1		1		1	①	1	1	1	③	1
11/9金	1	②		1	②		1	②		1	③	1	1	1		1
11/12月	1			1	③	1		1	③	1	④	1	1	②	1	1
11/13火	1	1	③	1	④		1	③	1	1	④	1	1	④	1	④
11/14水	1				1	④	1	1	④	1		1	③	1	⑤	1
11/15木				1	⑤	1	⑤							1	⑥	
11/16金	1	④		1			1			1	⑥	1	④			
11/19月	1			1	⑥	1		1	⑤	1		1	⑤	1		1
11/20火	1	1	⑤	1		1	⑥	1	1	⑦	1	1	⑦	1	1	⑤
11/21水	1				1	⑦	1	1	⑦	1		1	⑥	1	⑦	1
11/22木		1	⑥	1	1	⑦	1	⑥		1	1	1	1	1	1	⑥
11/23金																
11/26月	1			1		1		1	⑦	1		1	⑦	1		1
11/27火	1	1	⑦	1	⑧		1	⑧	1	⑧	1	1	1	1	1	⑧
11/28水	1					1	⑧					1	⑧	1	1	
11/29木		1	⑧	1	1		1			1		1	⑧	1	1	1
11/30金																
授業数合計	14	3	7	5	14	3	8	5	15	3	8	5	14	3	8	5

生徒の活動体制

5人 × 8班

プレゼンテーマ

羅生門、伊勢物語、徒然草、漢詩(杜甫、李白)(昨年度)

☆作品を知らない人に上記の作品を紹介し、読んでみようと思わせる

例：作者紹介、作品・章段・詩紹介(ストーリー、意味、テーマ)

評価ポイント

合同授業の目的に沿って、以下の観点で評価を行うこととする。

評価項目		評価ポイント	評価担当 教科	生徒間 評価
情報収集能力	適切な情報源の利用	参考文献に記述されている情報源が偏っていないか	情	○
	情報量の多さ・信憑性	複数の情報より適切に情報の取捨選択をおこなっているか	国	
発表資料作成能力	説得力のある構成	聞き手に伝わりやすい目次構成になっているか	国・情	
	発表原稿：確かな日本語使用	主語・述語のねじれ、長すぎる一文、正しくない接続詞等を使用していないか	国	○
	スライド：わかりやすさ	わかりやすいスライドのチェック項目が守られているか	情	○
プレゼンテーション	話し方	声量、スピード、抑揚が適切か	国・情	○
	態度	服装や発表時の姿勢が適切か	国・情	○
	行動	原稿をできるだけ見ないで発表する努力を行っているか、アイコンタクトを行っているか、効果的なジェスチャー(身振り手振り)を使用しているか	国・情	○
	時間配分	決められた時間内で発表ができたか、時間が余りすぎているか	情	

* 本年度のテーマの決定、各生徒の班、班別テーマ決めの方法は国語科で調整お願いいたします。